

～インフルエンザの出席停止期間について～

発症日・・・発症した日は0日目

病院に受診した日ではなく、インフルエンザ症状（38℃程度の発熱等）が始まった日。

そのため病院受診時に医師に発症日を相談・確認することが必要です。

	発症日 0日目	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後5日を経過した後		
							発症後 6日目	発症後 7日目	発症後 8日目
例1 発症後1日目に 解熱した場合	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 4日目	発症後 5日目	登校 可能		
	←出席停止→						○		
例2 発症後2日目に 解熱した場合	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 5日目	登校 可能		
	←出席停止→						○		
例3 発症後3日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校 可能		
	←出席停止→						○		
例4 発症後4日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校 可能	
	←出席停止→						○		
例5 発症後5日目に 解熱した場合	発熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	登校 可能
	←出席停止→							○	

～インフルエンザ豆知識①「ウイルスの効力と寿命について」～

ウイルスが人の体内で活動する期間は、長くても7～10日ほどといわれています。

これは、人間の体にはその間に抗体ができるからで、そのまま他の人や生物に感染しなければウイルスは消滅してしまいます。

一方、咳やくしゃみで体外に出たウイルスは、物の表面に付着した場合は1～2日、マスクやティッシュ・衣服に付いた場合は半日、金属・ステンレスなどは4日間ほど感染力を保っているのだそうです（ウイルスの寿命は、気温や湿度などによって異なります）。

そのため、こまめな消毒、手洗い等が必要になってきます。



～インフルエンザ豆知識②「飛沫感染の距離」～

マスクなどをせずに咳やくしゃみをする、1～2mほど飛沫が飛びます。またひどい咳などの場合はもっと遠く、3～5mもの距離を飛ぶことがあるそうです。

感染した人の咳やくしゃみをこの距離範囲で受ければ、ウイルスを吸ってしまいます。またたとえ離れていても、空気中にウイルスが舞っているとウイルスを吸い込んでしまうことがあります。